

事業番号	05 10 04	事業改善シート（令和7年度実施事業分）			☐ 当初要求 ☐ 当初予算案 ☐ 補正予算案 ☒ 点検		
事業名	総合リハビリテーションセンター運営事業（企業会計）	部局	健康福祉部	課・室	障がい者支援課		
		実施期間	R5 ～	E-mail	shogai-shien @ pref.nagano.lg.jp		

1 現状と課題

・リハビリテーションを必要とする障がいのある方の中には、医療的にも社会的にも複雑かつ多様な事情を抱える場合があり、こうしたケースを民間の医療機関や福祉施設で対応するには限界がある。

・特に若年・壮年層の中途障がい者が、医療的ケアを受けながら代替機能を獲得し、社会復帰等を目指せるような医療機関・福祉施設は数少ない。

2 事業目的

主に若年・壮年層の障がいのある方に対し、残された機能を最大限に引き出し、新たな代替機能を獲得するための専門的なリハビリテーションを提供するとともに、社会復帰等に向け福祉サービスの調整を行うことによって、それぞれの目指すゴール（就労・復学・社会復帰等）を実現し、地域社会とのつながりを保ち続けられるよう支援を行う。

3 事業目的を達成するための取組

- ① 障害者支援施設における福祉サービスの提供
- 利用者が早期に社会復帰できるよう、入所による生活訓練を通じて生活能力の向上に努めるとともに、機能訓練や職業訓練等による機能の改善や代替機能の獲得を図る。
- ② 病院におけるリハビリテーションの提供
- 脳血管障害や脊髄損傷等で身体に障がいのある方に対する早期リハビリテーションの実施、高次脳機能障がい者への支援及び脊椎疾患、関節疾患等の治療を行う。

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移		
①	施設入所者数（障害者支援施設）	人	7,333	9,318	↗	11,194	↗	8,336	達成 R6年10月現在の実績から、R6年度見込数を上回る想定であり、同程度の増加幅を来年度も維持することを目標とした。
②	入院患者数（病院）	人	11,696	13,730	↗	13,566	↘	14,084	未達成 同上

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
4-2①	年齢・性別・国籍・障がいの有無や経済状況等が障壁とならない公正な社会の創出										

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 （予算現額）	うち一般財源		
R7年度	0	1,877,279	44,788	1,922,067	1,160,260	1,886,268	126.0
R6年度	0	1,815,192	39,106	1,854,298	1,139,782	1,820,360	127.0
R5年度	0	2,075,172	△ 173,067	1,902,105	1,105,789	1,846,804	124.0

事業番号	05 10 04	事業改善シート（令和7年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	総合リハビリテーションセンター運営事業（企業会計）	部局	健康福祉部	課・室	障がい者支援課				

7 主な取組実績と成果

①障害者支援施設における福祉サービスの提供 利用者が早期に社会参加できるよう、日常生活訓練を実施するとともに、適切な健康管理を助言・支援し、社会生活能力の向上を図っている。サービス提供に当たっては、多職種連携による質の高い福祉サービスの提供に努めている。（定員：機能訓練等80人（日中活動）、施設入所支援60人、短期入所4人） 利用の状況は、機能訓練延人数は8,029人（前年度＋1,485人）、施設入所延人員は11,194人（前年度＋1,876人）と前年度より大幅に増加している。
②病院におけるリハビリテーションの提供 医療法に基づく80床の病床を有する病院で、リハビリテーションを中心に医療を提供している。脳血管障害や脊髄損傷等で身体に障がいのある方に対する早期リハビリテーションの実施、高次脳機能障害者への支援及び脊椎疾患、関節疾患等の治療に力を入れている。 延入院患者数は13,566人（前年度△164人）、外来患者数は10,021人（前年度△114人）と、若干の減少が見られるものの、概ね前年度と同水準で推移している。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	施設入所者数（障害者支援施設）	R6年度推移	↗	R7年度推移	↗	達成状況	達成
自動車運転訓練を軸にした県内の病院・施設等へのPR強化等により、入所者数は増加した。							
指標②	入院患者数（病院）	R6年度推移	↗	R7年度推移	↘	達成状況	未達成
県内の病院・施設との連携強化に積極的に取り組んだが、急性期医療機関の動向等の影響により患者数は横ばいに推移した。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題 医療から自立訓練、就労支援までを一体的に提供できる県内唯一の施設として、専門的なリハビリを必要とする方を支援につなげることで、利用者の増加を図るとともに、経営意識を徹底し、経営改善に取り組む必要がある。
(2) 事業改善の方策 ・令和7年度に策定した「長野県立総合リハビリテーションセンター経営強化プラン」（計画期間：令和8年度～令和12年度）に掲げた目標の達成に向け、定期的に進捗状況を確認しながら、取組を推進する。 ・病院部門については、安定的な患者確保に向けて、急性期医療機関等との連携強化を図り、紹介患者の受入れの促進に努める。 ・障害者支援施設部門については、病院機能の併設及び多職種連携による支援という強みを活かし、他の民間施設で対応が困難な方の受入を行うとともに、就労に向けた支援を強化する。

事業番号	05 10 04	細事業一覧（令和7年度実施事業分）			□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	総合リハビリテーションセンター運営事業（企業会計）		部局	健康福祉部	課・室	障がい者支援課	

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	総合リハビリテーションセンター運営事業		1,846,804 千円	1,820,360 千円	1,886,268 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	障害者支援施設運営事業	直接	障がい者が能力と適性に応じて自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、必要な日常生活訓練、機能訓練、健康管理指導等を実施 機能訓練延人数：8,029人 施設入所延人数：11,194人		
2	補装具製作施設運営事業	直接	医学的判定に基づく補装具の製作及び修理等を実施 義肢装具製作件数：90件、義肢装具修理件数：134件		
3	病院運営事業	直接	障がい者等の心身の障がいの状態の軽減を図り、自立した日常生活または社会生活を営むために必要な専門医療を提供 入院延患者数：13,566人 外来延患者数：10,021人		